

2025年度 奥羽サイエンス・ダイアログ

— 学長裁量経費成果発表会 —

「鋭い問い合わせが新たな研究を拓く」参加の皆様お一人おひとりの積極的なご質問が、熱気と知的刺激に満ちた議論を生み出し、その対話の連鎖が奥羽大学の研究を次なるステージへと力強く推し進めます。ご参加をお待ちしております。

1. 日 時 2025年12月26日(金)13:55開始

2. 場 所 第3講義棟 311教室

3. 進 行

13:55 事務連絡

14:00 第1部 (発表時間は7分間 質疑応答は3分間を目安とします)

(1) 14:00～14:10 玉井利代子

アレンドロネートは環状グアノシン一リン酸-アデノシン一リン酸シンターゼ(cGAS)の発現増強を介してリピドAが誘導するインターフェロン β の放出を増加する

(2) 14:10～14:20 小林美智代

ラクトフェリンは過剰なインターフェロンの発現および作用を抑制する

(3) 14:20～14:30 関健二郎

誤った文脈的恐怖記憶の想起と増強に及ぼす学習記憶関連分子・海馬PKMzetaの役割

(4) 14:30～14:40 柏木良友

有機ラジカル電池に使用するためのTEMPO修飾電極の作製

(5) 14:40～14:50 安部将太

障害者の智歯抜歯中にPulseless Electrical Activityとなつた1症例

(6) 14:50～15:00 岡崎智世

光重合型レジンの種類が矯正ブラケットの接着強さに及ぼす影響

15:00 ～～～ 休憩 (10分間) ～～～

15:10 第2部

(7) 15:10～15:20 西屋禎

SPRY domain- and SOCS Box-containing proteinは転写調節因子FOG-2のユビキチンープロテアソーム依存的分解を介して脂肪細胞の分化を制御する

(8) 15:20～15:30 金原淳

Au(I)/トリフラート系における隠れたブレンステッド酸触媒による異性化反応と α . β . β -三置換スチレン誘導体の効率的合成

(9) 15:30～15:40 倉品先秀

接着性レジンセメントにおける練和回数の違いによる接着強さの関係

(10) 15:40～15:50 荒木啓吾

多核がん細胞はがん再発の起点となる

(11) 15:50～16:00 本多真史

方言面接調査を介した傾聴支援-方言の心理療法的効果に着目して

(12) 16:00～16:10 小林洋平

CD20 隱性化 B 細胞性リンパ腫における増殖メカニズムの解析

16:10 ～～～ 休憩 (10 分間) ～～～

16:20 第3部

(13) 16:20～16:30 南 健太郎

初期う蝕に対するリン酸化オリゴ糖(Pos)配合口腔保湿剤の再石灰化促進作用に関する基礎的研究

(14) 16:30～16:40 山田 嘉重

歯以外の臓器におけるアメロジエニン遺伝子発現についての検証

(15) 16:40～16:50 若林 千里

当帰四逆加吳茱萸生姜湯(TSGST)は長期隔離飼育マウスに誘導される攻撃性を抑制する

(16) 16:50～17:00 須藤 遥

HCC1954 と MDA-MB-453 におけるケトン体合成律速酵素 HMGCS2 の発現状況と関連可能性のある現象

(17) 17:00～17:10 古山 昭

喫煙者と非喫煙者の唾液プロテオームにおけるスケーリング解析

(18) 17:10～17:20 櫻井敏博

ウシ胎盤とウイルス由来 DNA —内在性レトロウイルスから見る新しい胎盤像—

17:20 ～～～ 休憩 (10 分間) ～～～

17:30 第4部

(19) 17:30～17:40 石山 玄明

ミラベグロン誘導体の効率的な合成研究

(20) 17:40～17:50 小須田一剛

ガミースマイルを有する症例に対する歯科矯正用アンカースクリュー (TADs) の有効性について

(21) 17:50～18:00 守屋 孝洋

ステロイドパルス療法薬メチルプレドニゾロンの時計遺伝子・概日発現振動攪乱作用の解析

(22) 18:00～18:10 古泉博之

神経軸索形成時のキネシンモータータンパク質 KIF5 の軸索への選択的集積におけるダブルコルチン様キナーゼ 1 の役割

(23) 18:10～18:20 村田清志

生薬「カンゾウ」の特産地化を目指した基盤技術の開発及び応用

(24) 18:20～18:30 加川千鶴世

知的能力障害を伴う自閉スペクトラム症患者における食生活と口腔内
Candida spp. の関連

(25) 18:30～18:40 川鍋 仁

外科的矯正治療前後の睡眠動態の短期的变化について

18:40 終了